

みらいん

みやぎの

「みらいん」は、
震災からの復興に向けて
歩むまち・仙台の“ひと”と“地域”の
今を結ぶ情報紙です。



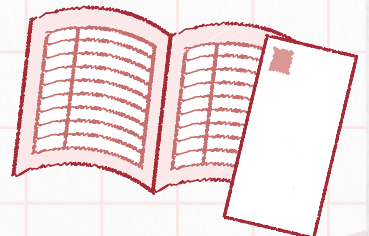
◀お花見会で寛いだ表情を見せる下山さん。
「この1年で10年分のエネルギーを使った(笑)それは皆のためだから」

今月の
ひと

住民の皆さんの生活再建に向けて奔走を続ける縁の下の力持ち 中野・西原町内会副会長

信頼関係をもち「言うことは言い、聞くことは聞く」姿勢が大切

中野・西原町内会副会長のほか、鶴巻1丁目東公園仮設住宅自治会長
中野小学校区復興対策委員として震災直後から走り続ける下山正夫さん。
西原町内会長の和田哲男さんと共に住民の安否確認に奔走していたころ、
「町内皆バラバラになったから、やっぱり月に1回ぐらい集まりたい」との声が届き、
流されずに残っていた名簿をもとに町内会の集まりを郵便で呼びかけました。
転居先不明などで戻ったものはほとんどなく、5月20日、当時避難所だった宮城野体育館で
1回目の集まりをもち、以降は毎月第1日曜日を定例としての交流が続いています。
また、復興に向けては中野4町内が共に協力し合う必要があるとし、
「中野小学校区復興対策委員会」として行政と協働で新たなまちづくりを進めています。
「発言しなければ問題点は何も解決しない」と、下山さんは行政にも住民にも
あえて苦言を呈することがありますが、そこには信頼関係があつてこそ。
「言うことは言って、話を聞くことは聞くという姿勢でないと」
更に、下山さんは「生活再建には、これから1年が特に大変だと思う。次のステップへ
進むためにも、先ずは我々が住む場所を決めない」と、表情を引き締めて語りました。



2012

6

第7号

Members List



小野 大介君(6年)

粘り強いチームにしたい。
とにかくひとつひとつ勝つ!



齋藤 高君(5年)

いっぱい大会で優勝して、
エラーしないで頑張る



佐藤 真洸君(5年)

チームの皆を引っ張っていきたい。
頑張ります!



須賀 頼寿君(5年)

ピッチャー、キャッチャー両方
出来るように頑張ります!



菅野 友雅君(4年)

打てて守れて、チームを引っ張って
いけるような選手になりたい



丹野 雄真君(4年)

セカンドで出来るだけエラーを
しないようにしたい



阿部 怜桜君(4年)

ピッチャーで、ノーヒットノーラン
を目指します



鈴木 一君(4年)

打てるバッターになる。イレギュ
ラーを取れるようになりたい



伊東 大夢君(3年)

チームのキャプテンになりたい。
ずっと野球を続けたい



及川 健成君(3年)

勝ちたいです!
守備とか打つのを頑張ります!

監督・コーチからひと言

昨年の4月半ば、チームの存続について保護者たちと話し合ったんです。何人が戻って来るかなあ、どうなるのかなあと不安だったけど、「これからも続けていこう! やりましょう!」となったんです。40年近く続いているチームだから、蒲生で楽しく野球をやらせたいです。今後の練習場所は和田集会所裏に移ると思います。あとは、ある程度人数が欲しいですね。大きな目標は7月14日の仙台市学童野球大会。ここで、まずはひとつ勝ちたい。これからも中野小学校のシンボリック的存在として頑張っていきたい。是非応援してください。

平野俊幸監督



阿部俊夫コーチ

子どもたちには前を向いて頑張ってもらいたい。中野小学校を卒業した子どもたち、社会人になったかつての子どもたちも「中野スパローズ」、野球を通じて交流が続いている。地域の皆さんのつながり、交流が今後も続いていけばいいなあ。続くと思います!

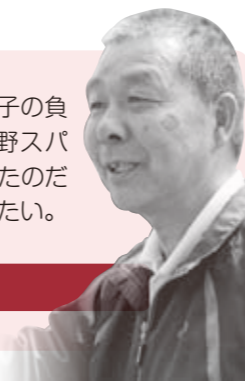


鈴木政彦コーチ
(チーム創設時のメンバー)

大会では、いろんな人と顔見知りになる。将来どこでプレイしようとも野球人としての輪を広げて、そこからのつながりを大事にして欲しい。全校生徒が少ない中で、中野小のスパローズ入団比率は高い。頑張ってるんです。

6年生がひとりだけになって、その子の負担が大きいと思う。やっと、この「中野スパローズ」として活動出来るようになったのだから、思い切って楽しくやってもらいたい。

鈴木忠幸総監督



今後の対戦予定

7月14日(土)に仙台市学童野球大会
が開催されます。応援をお願いします!

俺たち 中野スパローズ!

白球に力を入れる

被災した中野小学校に通っていた児童で構成される中野スパローズは、地域に根ざした1974年創設の少年野球チーム。メンバーの保護者の中にもスパローズ出身者が多く存在します。震災に遭いメンバーの住まいがバラバラになった今も、子どもたちや指導者、保護者が一体となり頑張っている活動を続けており、それは地域のひとつの再生の形と言えるでしょう。

4月29日に燕沢中央公園グラウンドで行われた全日本学童野球宮城野区大会で、スパローズの選手たちは第4試合に出場しました。相手は山崎少年野球クラブ。ピッチャーである小野大介君が力投しましたが、1時間半の大会規定時間を迎え10-6で惜敗。その悔しさは、次へのステップの原動力になるはずだ。

練習場所を求めて

津波で家を失ったメンバーも多い中、昨年4月から練習を開始し、直後の春季大会では本来は認められていませんが練習着や不揃いの服装で出場。バットなどの道具は、神奈川県などから寄贈されました。現在、練習場所である中野小学校は使用出来ないため、和田地区の丹野畜産の敷地を借りています。自分たちの練習場所が欲しいからと、真夏に皆で石ころ拾いや片付けをして一生懸命整備しました。その他、昔からつながりのある福室小学校に声を掛けてもらったり、加瀬沼のグラウンドを借りたりしてなんとか練習を続けています。

保護者からのメッセージ

齋藤夏恵さん

子どもを中野小学校に通わせたいから仙台港背後地6号公園仮設住宅に入居することにしました。私たち保護者にとっても、スパローズの練習や試合を通して皆と会うことが励み。いろんな境遇で生活する保護者たちの交流の場になっています。

伊東裕子さん

震災後は子どもたちが情緒不安定だったから、野球が、スパローズが究極の楽しみだったんだと思う。若林へ転校してから余計に楽しかった! 皆が頑張っているの。

佐藤誠さん

子どもが公園や近所の学校でキャッチボールをしていると「危ない」など、注意されたりで、なかなか行き場がないよね。のびのびと練習出来る場所が欲しいです。震災直後は野球が出来るとは思わなかったけど、段々と欲が出てきたんだね。

小野一徳さん(チーム創設時のメンバー)

お父さん同士、主に勝ったときは…負けても飲みに行くけど。そう言った場では、普段話せないことも飲んだ勢いで吐き出せたりできるのが良いよね。平野監督は大変な状況の子どもたちを気遣ってくれたと思います。



広大ではありませんが、チームにとっては貴重な練習場所です



「交流の場」を楽しみにしている保護者たち

このコーナーでは、中野・岡田地区出身で現在は借り上げ民間賃貸住宅にお住まいの方々にリレー形式でご登場いただきます。



◀(左から)栄喜さん、榮さん、正代さん、とよみさん。なかなか会えない地域の皆さんに対して、榮さんは言葉の代わりに最高の笑顔で応えてくれました

第2回

阿部とよみさんご一家(岡田・鍋沼)

一家全員無事だったのが何より

阿部とよみさんは現在、夫の栄喜さん、義父母の榮さん、正代さんと4人で福田町の借り上げ民間賃貸住宅に住んでいます。震災当日、4人は鍋沼の自宅で被災し、車で一緒に避難するも、波に追われて産業道路近くの立体駐車場へ逃げ込みました。水が引いてから、足の悪い榮さんを栄喜さんがおぶって一番近い避難場所の鶴巻小学校へ移り、20日間ほどを過ごしました。震災前に同居間近だった長男の勝さん一家は、勝さんの職場に近い多賀城市に離れて暮らします。逃げる途中で人助けをして津波に襲われてしまった次男の洋也さんでしたが、七ヶ浜町で家族と元気に暮らしています。遠く神奈川県から家族を心配した三男の昌公さんも元気に仕事に励んでいます。

いつでも遊びに来てください

榮さんと正代さんはなかなか外出ができず寂しい日々でしたが、最近、正代さんは専念寺で毎月13日に行われる常例仏教婦人部に顔を出して知人とお喋りを、榮さんは週2回利用するデイサービスをそれぞれ楽しみにしています。

今後について、栄喜さんは「ずんつあん、どうすんの？ ばあちゃんは何？」と、鍋沼を愛する高齢の両親を気遣いながら問いかけますが、若い長男夫婦や孫のことを想うと決めかねています。とよみさんも「土地も高いし、どうしたらいいものか。とにかく早く家族皆で住めたらいいなって思います」と胸の内を語り、「ばあちゃんとじいちゃんが居るから、いつでもお茶飲みに来てください」と、地域の皆さんへ呼びかけました。

次回は阿部さんご夫妻から紹介された中野地区の方に登場いただく予定です

● 町蒲生の家は津波被害に遭い、今は借り上げ民間賃貸住宅に住んでいます。じいちゃん(義父)はもとの家の敷地での野菜作りを楽しんでおり、この間は立派な春キャベツが食卓を彩りました。春を迎えて、皆の表情も明るくなってきてうれしい。
小野信子さん

みらいん編集部取材ダイアリー

4月

みらいん編集部は、毎日読者の皆さんと一緒にさまざまな催しや出来事に参加し、取材しています。その一部をご紹介します。

1日(日) 岡田味噌加工施設が稼働開始 (岡田味噌加工施設)



岡田地区の農家で組織する岡田生産組合が生産・販売する「岡田味噌」。震災によりもとの加工工場は全壊しましたが、JA仙台が土地を貸して新たな加工施設を建設。

今年1月の上棟式、3月末の落成式と試運転を経て、岡田味噌加工施設が4月から稼働し始めました。実際に作業を担当する同組合加工班の女性たちは、新しい機械を前にお互いに声をかけ合いながら約1年ぶりの感覚を取り戻し、再び皆で作業できる喜びが表情に表れていました。既に仕込みが完了し、晩秋の販売が待たれます。

24日(火) 「つぎはぎすっぺっちゃん」 (南城道田)



南蒲生・南城道田の庄司恵子さん宅敷地内の蔵を利用した、ご近所の皆さんの拠り所が出来上がりました。皆さん手作りのバッグやポーチが並べられた居心地の良い空間。恵子さんは「皆が集まってしゃべったり縫い物する場だから、自由に来てお茶っご飲みに来てけらいん」と話します。蔵の中はひんやりと涼しく、これからの季節は快適そうです。



● 移転する人も住み続ける人も、求めているのは安全、安心。計画を描いている今と、実際の将来で差が生じて新浜が過疎になってしまふんじゃないかと懸念している。僕ら子育て世代は子どもが心配。そういう人のためにも、復興の進め方を加速させなくては。
五十嵐真さん

読者からひとこと

● 新浜に暮らして二十年。残りたい人達のために、新浜復興の会として少しでも住みやすくなるように出来れば。新浜が好きだから。住み始めた頃は周りのことが分からなかったけど、休日などに近所の人が声を掛けてくれてうれしかった。
平山博文さん

まちの語り場

集団移転、単独移転、現地再建…。沿岸部にお住まいの方は今、お住まいの再建に向けて地域ごとに話し合いを進めています。このコーナーでは、それぞれの団体に話し合われている内容についてお知らせします。

新浜復興の会



新浜住民の心の復興、迅速な情報提供、今後も新浜に住み続けられる地域づくり、移転を決断した仲間を尊重する、といった活動方針に沿って運営しています。

◀「かさ上げ道路はいつ出来るのか?」「岡田地区に復興住宅は出来るのか?」など、質疑応答に多くの時間が割かれました

5月13日(日) 第2回町内会全体報告会

- 内容
 - 5月8日に市へ提出した要望書の内容説明
 - 津波シミュレーションの説明
 - 今後のスケジュール(グループ分けをしての意見交換、アンケートの実施など)

● 当日の様子 市側からは、「新浜の皆さんが描く具体的なまちづくり案を提示してほしい」という話がありました。また、住民側からは「災害危険区域外も区域内と同様の支援が欲しい、住民の複雑な心情を理解して欲しい」という要望や意見が出ていました。

問い合わせ先: 代表 遠藤芳広 090-2020-4002
世話人会: 毎週土曜日 18:00~
福田町南1丁目公園仮設住宅集会所

南蒲生復興部



南蒲生町内会の復興部は、個々の生活再建と南蒲生の復興を迅速に進めるために、町内会から権限の委譲を受けて、独自の復興まちづくり計画を策定し、市への提案を行っています。

◀南蒲生に対する愛着があるからこそ、多数の意見が出されます

5月9日(水) 第12回事務局・第4回全体会議

- 内容
 - 南蒲生地区の土地利用や事業手法を検討する上で、必要な条件を把握するための「まちづくり意向調査アンケート(案)」の設問の精査を行う

● 当日の様子 「初回だし、もっと簡単にしたらどうか」「いやいや、今後を考えて必要な施設などを打ち出していく上で、各世代の人数を把握するのは重要だ」「再建、移転を検討中の人がどちら寄りなのか、なるべく示してもらえようようにしよう」など、さまざまな意見が出されました。

問い合わせ先: 代表 芳賀正 090-4042-9464
事務局会議: 毎週水曜日 18:30~
岡田西町公園仮設住宅集会所
住民説明報告会: 毎月最終日曜日 岡田会館

中野小学校区復興対策委員会

中野地区4町内会(港・蒲生・西原・和田)が一丸となり、復興に向けた活動を行っています。

5月6日(日) 第20回中野小学校区復興対策委員会

- 報告事項
 - (4町内会から)
 - 港: 4月15日にお花見会と市からの説明会をもち、100人以上が集まった。移転候補地として田子を検討中
 - 蒲生: 市から提供された資料をもとに移転候補地の情報をまとめ、町内会全家庭へ送付
 - 和田: 住民意見交換の場を3か月に1度設けることになり、4月22日に第1回集会をもった。次回は7月15日(日) 13:00~、高砂市民センター
 - 西原: 4月22日に西原町内会と鶴巻仮設自治会共催でお花見会を行い、100人ほどが参加
 - (その他)
 - 中野小学校運動会が6月2日(土)に開催される予定
会場: 中野栄小学校、時間: 未定
各仮設住宅(仙台北港背後地6号公園、高砂1丁目公園、鶴巻1丁目東公園)を巡るバスを手配し、1人でも多くの住民が参加できるように配慮する
 - 復旧・復興(集団移転)について鈴木復興事業監から報告
 - 県道塩釜・亘理線のかさ上げ費が認められないと復興計画の根本にかかわるため、県と共に何としても国に認めてもらうよう努める

● 約2400世帯(住居以外に不動産所有者も対象)へ申出書提出を依頼し、5月2日現在提出された世帯は54%、実際に居住していた1600世帯を対象にすると申出書回答率は62%
● 5月中に仙台市全体でひとつの防災集団移転促進事業計画を国土交通大臣に提出予定

● 当日の様子 和田町内会第1回意見交換会で住民から寄せられた質問について、仙台市からその場で回答がありました。具体的に、復興公営住宅へのエレベーター設置の有無については、集合住宅タイプは中層程度になるため設置有。借地に関するさまざまな質問事項については、紙にしないと住民の皆さんが分かりにくいということでQ&A形式の資料で提示することを検討。また、4月末までの個別相談で示されたQ&Aについては、現在まとめるにはいっており、皆さんへ送付準備中ということが確認されました。なお、プレハブ仮設住宅に空きが出た場合の新たな世帯の入居については、国から通達されている内容を再確認し後日回答されることになりました。

問い合わせ先: 委員長 高橋實 022-258-3068
定例会議: 毎月第1、第3日曜日 16:00~
鶴巻1丁目東公園仮設住宅集会所

被災地レポート

取材地
専能寺

(南蒲生・鍋沼地区)

津波の被害を受けたお寺が
多くの人の手により復旧

海岸から二キロほどの南蒲生・鍋沼地区に専能寺というお寺があります。浄土真宗本願寺派のお寺で、門徒は八百世帯ほど。四百年余りの歴史を持つ由緒あるお寺です。このお寺も地震や大津波によって甚大な被害を受けました。震災発生時、寺の前坊守である足利邦子さんは遅めの昼食をとっていました。邦子さんは近所の方のお孫さんから「大津波が来るから逃げよう」と言われました



津波によって倒された墓石がそのままになっている場所も一部残っています

が信じられず、残ってお寺の裏手にあるお墓の被害状況を確認してしました。その直後近くの県道付近から「津波が来てるぞ!」という叫び声を聞き、すぐさま門徒会館の二階へと駆け上がりました。その瞬間、一階の勝手口からドゥッ! という音を立てて海水が流れ込んできました。が、間一髪で助かりました。

地震で山門が倒れ津波で流され、境内にある銅像も根元からひん曲がりました。墓石も倒れ、本堂、門徒会館には流されてきたドラム缶や松の木、大量の土砂などが入り込み、お寺の中がめちゃくちゃになってしまいました。震災後、現住職である足利一之さんと坊守の由美さんは寺に住むことができず、JR陸前高砂駅近くのアパートから連日門徒宅を駆けまわっていたそうです。しかし、門徒の方々や多くのボランティアの尽力のおかげで本堂や門徒会館はほぼ修復され、今は津波の被害にあつたとは思えないほどきれいになっていました。「ほら! ここも最初泥

だらけだったんだけど、ボランティアの人が丁寧に泥をかき出してくれたからここまできれいになったんですよ」と光が反射するほどに磨かれている本堂の床を見て、邦子さんはうれしそうに話してくれました。

お茶会や常例法座を開催
地域の方の心の拠り所に

今では、教化団体の仏壯、仏婦の例会がそれぞれあって、お茶会をしたり、書院では宿泊もできるようなになり、早速利用されています。「こ



専能寺の前坊守、足利邦子さん(写真左)。門徒の方々と一緒に、震災後の活動などを話してくださいました

こはどなたでも集まってお茶飲みながらほっとできる場。心の拠り所ですね」と門徒の方々も口をそろえていました。また毎月十三日に行われている「常例法座」は震災から一カ月で再開され、仮設住宅などから震災前と同様の約八十人が訪れています。

専能寺周辺にお住まいだった方ほとんどが、家が壊れたり無くなったりして鍋沼を離れましたが、今は十五世帯ほどが戻って鍋沼での暮らしを再開しました。「今はこの辺りからたくさんの方が離れて行ってしまっていて寂しいです。早く皆に戻ってきてほしい」と邦子さんは願っています。



毎月13日に開かれている常例法座。全国各地から講師が訪れます。昨年4月13日には早くも再開できました(写真は今年5月13日の様子)

情報掲示板

仮設住宅やご近所で開催される催し物や相談会、支援団体による支援情報などを紹介します。

健康応援団

健康についての講座や相談を行っています。地域の自主グループなどの運動の日もあります。(日程変更あり。詳しくは問い合わせを)

対象 どなたでも参加できます

時・所 各仮設住宅集会所

- ▼高砂1丁目公園 6月22日(金)10:00~7月4日(水)10:00~
- ▼鶴巻1丁目東公園 7月4日(水)13:15~
- ▼福田町南1丁目公園 6月18日(月)10:00~7月2日(月)10:00~
- ▼岡田西町公園 6月28日(木)10:00~
- ▼港南西公園 7月6日(金)10:00~
- ▼仙台港背後地6号公園 6月20日(水)10:00~
- ▼扇町1丁目公園 6月15日(金)13:30~
- ▼扇町4丁目公園 6月13日(水)10:00~

☎ 022-291-2111(内線6782、6784)
宮城野区家庭健康課健康増進係

仮設住宅出前講座

高砂市民センターが、宮城野区内の仮設住宅でさまざまな講座を開いています。

対象 対象の仮設住宅にお住まいの方

内容 押し花でオリジナルうちわを作しましょう

時・所 6月16日(土)13:00~高砂1丁目公園
6月23日(土)13:00~仙台港背後地6号公園

内容 お顔リフレッシュ②(お顔のマッサージなど)

時・所 6月29日(金)10:00~岡田西町公園

内容 ひさしぶりにごいっしょしましょ(おしゃべり会)

時・所 7月5日(木)13:00~仙台港背後地6号公園

☎ 022-258-1010高砂市民センター

被災者を狙ったヤミ金融にご注意ください

ヤミ金融は①携帯電話やダイレクトメールなどで勧誘し、法外な高金利で貸し付けます②被災者を狙ってやさしい応対で誘いますが、取り立ては執拗です。申込み前に、貸金業の登録業者かを確認し、あやしいと思ったら情報窓口にご相談ください。東北財務局では、貸金業の登録確認やヤミ金融に関する相談を受け付けています。

情報窓口・連絡先 022-721-7078東北財務局金融監督第三課
(仙台市青葉区本町3-3-1仙台合同庁舎4階)
月~金曜日9:00~17:45(祝日・年末年始除く)

巡回相談

地域支えあいセンターによる巡回相談です。生活上の困りごとなどの相談に応じています。相談無料。

対象 主に借り上げ民間賃貸住宅にお住まいの方

巡回相談(6月10日~7月10日 9:30~15:00)

- ▼田子市民センター(毎週金曜日)
6月15日、22日、29日、7月6日
- ▼中央市民センター(毎週土曜日)
6月16日、23日、30日、7月7日
- ▼東部市民センター(毎週水曜日)
6月13日、20日、27日、7月4日
- ▼高砂市民センター(毎週木曜日)
6月14日、21日、28日、7月5日
- ▼福室市民センター(毎週火曜日)
6月12日、19日、26日、7月3日、10日
- ▼榴ヶ岡市民センター(毎週土曜日)
6月16日、23日、30日、7月7日

※常設の「支えあいセンターみやぎの」もご利用ください

住所 宮城野区原町3-5-32 コーポゼン1F 022-292-0990
(開所時間/8:30~17:00、相談受付/9:30~15:00、休/日・月曜日、祝日の翌日、年末年始)

☎ 022-217-7234仙台市社会福祉協議会 中核支えあいセンター

震災で汚れた写真の洗浄をしています

泥や海水で汚れた写真はありますか? 仙台市内で活動する震災復興ボランティア団体「おもいでかえる」が、写真をきれいに洗浄してお返しします。

【ボランティアも同時募集】

写真に興味のある方、写真洗浄のボランティアをしませんか? お気軽にお問い合わせください。

☎ 070-5473-3585おもいでかえる(金谷、千葉)

バラ園見学バスツアー参加者募集

みやぎ生協仙塩ボランティアセンターが、被災地応援企画として、登米市迫町のバラ園見学&花摘み体験バスツアーを企画します。バラの香りに包まれて、からだをリフレッシュしましょう。

対象 東日本大震災で被災された方

時 7月9日(月)8:30仙台駅西口バスプール出発(15:00仙台駅着予定)

内容 フリーリアバラ園見学など

参加費 500円(昼食費含む)

定員 40名 ※お子様は座席の都合上ご遠慮ください

申込方法 お名前・住所・電話番号をご記入の上、はがき・FAX・メールのいずれかで申込んでください(1通あたり2名まで)

申込締切 6月25日(月) ※応募多数の場合抽選。結果はハガキで連絡

申・中 みやぎ生協生活文化部 仙塩ボランティアセンター(八島) 〒981-3194 泉区八乙女4-2-2
022-218-5331、FAX022-218-5945
Eメール: sn.mvc_sendai@todock.jp

けんいん くらむ

こころ編

♪同じ仮寝の
露の宿ってが!?

露の宿ってが!?

十三年前に一百二歳で亡くなった老父が生前よく言っていたもんです。自分の人生を語るのに百年はかかるって。とは云っても、父にとって一世紀も生きた人生ですが、きつとあつといふ間の歳月だったのかも知れませぬ。それに、生きるってことは、本当はとも寂しく儂いものなのでせうね。だってほら、嬉しいことや楽しいことは長くは続いてくれませんし、逆に辛いことや悲しいこと、□惜しいことや腹の立つことは、この身にしつこく纏はり付いて、なかなか離れてくれませんものねえ。

で、考へましたよ。これまでは活きる命(活命)の方にばかり齷齪としてをりましたけど、実はこの世に両親を縁として誕生した時から、誰も皆例外なく、活きる命と同じ割合で必ず死すべき命(死命)をも生きてあるといふことがこの身にすでに組み込まれてゐたんだってことを、この際すっかり自覚して日暮らしをして行かうってね、思ひました。昔のお侍さんは常にこの死する命を意識して、日々心身を鍛錬してゐたさうです。未だ「憲法九条」も「銃刀法」もなかったたので、各自武器を所持してたわけですから。

徳照寺 住職 佐藤和丸

佐藤和丸 (さとう かずまる)

若林区日辺の浄土真宗大谷派・徳照寺住職。情報誌への執筆や居酒屋での説法会などを行う、ユニークな人柄と行動力の持ち主。

クロスワードパズル

出題
石田竹久

こたえ

A B C D

1	2	3	4	5
6	7	B	8	
9	10			C
11	12	13	14	
15			D	
16	A	17	18	19
20				

タテのカギ

- ①その形状が名前の由来。仙台の名産となった笹○○○○
- ②「神子」とか「巫女」と書きます
- ③深く考えず、工夫のないこと
- ④仙台平野の風土から生まれた美味、長○○漬け
- ⑤陰暦で5月は皐月、では6月は?
- ⑦日本で初めて金を産出したことにちなんだ施設、遠田郡涌谷町にある天平○○○館
- ⑩間違った知らせ
- ⑫手間がかからず、簡単で便利なこと
- ⑭油揚げを入れればキツネ、生卵を入れたら?
- ⑮○○○汁は、冬野菜と、この魚のぶつ切りをいれた汁もの
- ⑯三陸の夏の珍味。海のパイナップルとも呼ばれます
- ⑰「猛者」の読み方は?
- ⑱○○振り合うも多生の縁

ヨコのカギ

- ①葉菜山、陶芸の里があるのは○○町
- ③大勢で行動するとき、これをそろえないとまとまりません
- ⑥主原料に落花生の粉を使うお菓子で、仙台駄菓子として紹介されることもあります
- ⑧俗に、相撲の土俵に近い席は、○○かぶり
- ⑨家族でレジャー、パパやママからはぐれちゃうと・・・
- ⑪ある人物の作品だけの展覧会
- ⑬山元町で海の幸を使った名物といえば、○○○ご飯
- ⑮入学や入社が一緒
- ⑯焼けたら千切りキャベツにソースをかけて一緒に食べるのが気仙沼流のB級グルメ
- ⑰政宗公の時代から、伝統の製法で辛口の風味を持ち味とする、仙台○○
- ⑱胸骨と肩甲骨とをつなぐ骨

前回のこたえ

A ス B ズ C メ D オ E ド F リ

でした。

1	ア	2	シ	3	ハ	4	ニ	ユ	ウ	
5	オ	6	サ	ト				ミ		
	バ		ト		7	イ	B	ズ	8	ミ
	9	コ	ウ	10	エ	ン			ノ	
11	ト	12	メ		ン		13	ハ	14	リ
	リ		15	カ	ツ	ド	ウ			
16	ク	17	ド	ウ		18	ス	19	ナ	

編集後記

「みらいんさん、がんばってね!」岡田会館で行われた、新浜復興の会全体報告会終了後に声をかけてくださった方、ありがとうございます。皆さんの復興が速やかでありますよう。(芳賀)

ようやく身を固めました。目指すは頑固でいい加減な親父です。ここのところ、妻と同じくらい腹もぼつり出て来て、呆れられています。秋頃には親父になる予定です。名付けが楽しみだなあ。(おおが)

情報提供のお願い

「みらいん」は、皆さんと一緒に作り、歩む情報紙です。紙面に対するご感想や、紹介したい人や場所、今抱えている想いなどのコメントをハガキ、FAX、メールでお寄せください。読者の皆さんの思いを、紙面に反映していきます。

送付先: 〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町2-12

「みらいん」編集部

F A X : 022-390-5756 e-mail : kawara@mmmm.or.jp